



# 四十源流

[町議会だより] Town Council Newsletter

## 祝二十歳

令和8年 二十歳を祝う集い



令和八年



●高橋町長、1期目に臨む所信を述べる

●12月定例会・臨時会 議案審議の概要

●一般質問 雲の上のホテル跡地の活用策は? \_\_\_\_\_ 來米 豊史 議員

●一般質問 子どもたちが安心して学べる教育環境を守るには 森田 呂弥 議員

令和八年 元旦

議会議長 市川 岩龜

初春を迎える  
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
本年も皆様にとつて  
輝かしい年になりますよう  
ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

初春を迎える  
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

迎  
春



市川岩龜 議長

委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	副委員長
西川慶男	市川岩龜	土釜清	森田呂弥	西川慶男	西川慶男	西川慶男
市川岩龜	岩龜清	岩龜清	岩龜清	岩龜清	岩龜清	岩龜清

まちづくり常任委員会（8人）

委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	副委員長
オブザーバー	オブザーバー	オブザーバー	オブザーバー	オブザーバー	オブザーバー	西川慶男
森田呂弥	森田呂弥	西川慶男	西川慶男	西川慶男	西川慶男	西川慶男

議長	議長	議長	議長	議長	議長	副議長
市川岩龜	市川岩龜	市川岩龜	市川岩龜	市川岩龜	市川岩龜	森田呂弥
岩龜清						

## 橋原町議会

## 議会広報編集委員会（7人）

事務局	書記	局長	委員長	委員長	委員長	委員長
	氏原香理	市大美奈	土釜清	西川豊正	森田呂弥	藤原伸明



西川慶男 議員



森田呂弥 副議長



矢野 明 議員



藤原 伸 議員



來米豊史 議員



西川豊正 議員



土釜 清 議員





# 高橋町長、1期目に臨む所信を述べる

期満了を機に勇退をさ  
れました。

この間、地方を取り  
巻く厳しい社会状況の  
なかで、数々の業績を  
打ち立てられました。  
そのご功績と今日まで  
のご労苦に、町民の皆  
様方とともに、深甚な  
る謝意を示したいと存  
じます。

さて、その禪(たすき)  
を受ける者として、不  
肖私が町民の皆様方か  
らご支持をいただきま  
して、こうして所信を  
述べる場を与えていた

私は、町民の皆様のご支持をいただき、当選させていただきましたことは、私にとって何よりも自信につながりました。しかし、大きな勇気をいただけたことに心から感謝申し上げる次第であります。

域未来戦略」へと転換し、積極的な財政出動による地方経済の底上げが図られるようになつております。危機管理投資による公共事業の拡大として、「日本列島強靭化」を最優先課題に掲げ、事前防災や老朽化インフラ対策への投資を加速するなど地方の建設業や関連産業に直接的な経済波及効果が期待されます。また、新たな地方支援交付金の創設として「地域未来戦略本部

（橋原の社会状況と課題）

急激な人口減少と高齢化の進行により、2025年11月末の人口は3018人で、高齢化率は46%に達しております。今後も自然減が避けられず2050年には1400人まで減少するとの推計も出ており、地域医療の維持も重き課題として挙げられております。本町の地域医療の核である橋原病院経営についても検討してまいります。

**【目指すまちづくり】** 現在の厳しい町財政運営の中では、大きな構造変化が必要になつてまいります。トップダウンではなく横にいかに広く、大きく強固につながることが求められるのではないか。強靭さのなかに柔軟さを兼ね備えたつながりが必要であり、住民、役場、議会、各種団体が一枚岩となり地域がつなが

この度2期8年間にわたり檍原町政発展と  
町民が幸福感を感じながら暮らすことができ  
る町づくりはもとより、高知県、全国の中  
山間地の活性化のため、昼夜を問わず東奔西走の活躍をなされ  
てこられました、吉田尚人町長が12月20日任

もとより浅学菲才な  
私はあります、が、粉  
骨碎身努力してまいり  
ますので、今後のご支  
援ご協力を今以上にお  
願い申し上げます。

〔高市政権の動向〕

行を前提とした財政出動は、将来的な増税や社会保障費の削減につながる恐れがあり、持続可能性への不安が残ります。

あります。生活基盤の確保を守り抜き、医療、公共交通など住民の安心・安全を支える生活インフラをいかに維持し続けるかが、将来に向けた最大の課題ととらえております。

また、産業の担い手の不足や地域の伝統文化の保存や、集落単位でのコミュニティ活動の維持が困難になりつつあります。生活基盤の確保を守り抜き、医療、公共交通など住民の安心・安全を支える生活インフラをいかに維持し続けるかが、将来に向けた最大の課題となると考えています。

り、お互いを認め合い、協力し合うことこそが今後の梼原町の未来を創り育てていくことだと考えております。

市民の皆様一人ひとりが自分たちでこの町を創るんだ、守り育てるんだという意識を持った「市民一人ひとりが主役のまちづくり」の共通認識を持つて努力してまいります。

議会議員を通算4期務めさせていただき、その間、町内を何度も巡回させていたしました。今回、一般企業に勤めていたこともあり4年ぶりに町内を巡回させていただきましたが、少子高齢化の波は思った以上に大きく空き家は増え、農地の荒廃は進み、それでも住み慣れた土地を離ることなく最後までこの土地で「生ききりたい」と願う皆さ

んと握手した時の手のぬくもりを忘れてはならないとしっかりと心に刻みました。改めて

市民の皆様一人ひとりがそれぞれの生きがいや幸福感を感じ、安心して安全に暮らし、最後まで「生ききる」こ

とができる町づくりに全力で取り組みたいと再認識いたしました。

また、こうして町内を巡回するなかで幹線道路の改良は順調に進んではきましたが、集落に通じる道そのものや側溝、法面の立ち木など命を守るべき道の多くに、安全とは言えない状況があることも身に染みて感じたことでありました。

そうした状況の解消への取り組みを含め、「医療・福祉の充実」「教育の充実」「産業振興」「安心して暮らせる環境づくり」「災害に強

いまちづくり」に取り組んでまいります。

まず、医療・福祉の充実につきましては梼原病院が30周年を迎えました。各地では大型病院が経営困難になり閑鎖される状況下、梼原町においても人口減少の波のなか、赤字経営がこれからも見込まれる状態になつております。しかしながら僻地であるからこそ病院の存続は重要なことです。病院だけではなく他の事業と組み合われた経営が必要となるつてくると考えます。町民の皆様と知恵を出し合い一般企業で培った経営感覚を十二分に発揮して存続に全効率化の手段や独居の方々の支援、障害のある方々の望ましいあり方を検討してまいります

とともに、保健・福祉・教育の充実に取り組んでまいります。

原町においても人口減少の波のなか、赤字経営がこれからも見込まれる状態になつております。しかしながら僻地であるからこそ病院の存続は重要なことです。病院だけではなく他の事業と組み合われた経営が必要となるつてくると考えます。町民の皆様と知恵を出し合い一般企業で培った経営感覚を十二分に発揮して存続に全効率化の手段や独居の方々の支援、障害のある方々の望ましいあり方を検討してまいります

とともに、保健・福祉・教育の充実に取り組んでまいります。

まずは「自身あふれる梼原人を育てる教育の確立」を基本方針として、「地域ぐるみの教育の推進」「基礎基本の徹底と生きる力の育成」「保幼小中高の一貫教育の推進」「生涯を通じて主体的に学び続ける環境づくりの推進」「安全・安心の教育環境の整備」の5つ

の基本施策に沿つた指導教育に取り組みます。特に「地域ぐるみ教育の推進」においては本町ならではの人の温かさや連携、協力体制により人間味あふれ成が急がれると考えます。梼原の財産である山は守り育てる時期か

は、JA及び県の農業関連部門と農家を含めた協議を行い基幹品目の見直しや後継者育成における手厚い支援等の密な協議を行います。

また、梼原高校においては、産業の担い手育成とリンクした取り組みを行い、林業科の設置を推進し、県の林業大学校と連携した未

来の林業担い手として活躍できる仕組みについて関係各所と協議を継続します。

また、梼原高校においては、産業の担い手育成とリンクした取り組みを行い、林業科の設置を推進し、県の林業大学校と連携した未

きる」ことができる町づくりとして、命の道の整備や危険箇所の解消、安定した飲料水の確保は、安心して暮らすための基盤整備として、これまで同様しっかりと取り組んでまいります。

災害に強いまちづくりにつきましては、高齢化が進み、若い人が少ない地域では、個人の力だけでは対応できません。よって他からの支援の仕組みが重要であります。そのため、災害を防ぐ核となる消防団活動を重視し、日頃の訓練や集会に力が入るよう支援するとともに、自主防災組織と企業、各種団体と連携した地域防災体制の強化に努めてまいります。加えて消防団の機械力整備や防火水槽など必要な施設整備を進めています。

崩れ防止や道路の法面の強化など、国、県の防災公共事業の導入に努めてまいります。

**【行政経営】**

今後、ますます地方を取り巻く財政状況は厳しさを増していきます。特に国、県に大きく財源を依存している本町においては、単に財政環境の悪化をのりこえるだけではなく、限られた財源で、梼原町の地域社会の持続的発展と住民の満足度を高める行政運営を実現することが最も求められています。健全な財政運営が基本であります。

一方で、健全な財政運営には、今後、自立を目指すことも必要になります。そこで、この原因は歴代町長の思いや公園整備での基本的な構想のうち、財源の確保に自治体自体が行動することが今後の明暗を分ける鍵となることは間違ありません。一般企業は、赤字経営では成り立つことはできません。行政の組織能力をもう一段階上げていき、今までの行政の考え方方にとらわれず、主体性を持つた成長する経営を目指してまいります。

一方で、健全な財政運営には、今後、自立を目指すことも必要になります。そこで、この原因は歴代町長の思いや公園整備での基本的な構想のうち、財源の確保に自治体自体が行動することが今後の明暗を分ける鍵となることは間違いません。一般企業は、赤字経営では成り立つことはできません。行政の組織能力をもう一段階上げていき、今までの行政の考え方方にとらわれず、主体性を持つた成長する経営を目指してまいります。

一方で、健全な財政運営には、今後、自立を目指すことも必要になります。そこで、この原因は歴代町長の思いや公園整備での基本的な構想のうち、財源の確保に自治体自体が行動することが今後の明暗を分ける鍵となることは間違いません。一般企業は、赤字経営では成り立つことはできません。行政の組織能力をもう一段階上げていき、今までの行政の考え方方にとらわれず、主体性を持つた成長する経営を目指してまいります。

一方で、健全な財政運営には、今後、自立を目指すことも必要になります。そこで、この原因は歴代町長の思いや公園整備での基本的な構想のうち、財源の確保に自治体自体が行動することが今後の明暗を分ける鍵となることは間違いません。一般企業は、赤字経営では成り立つことはできません。行政の組織能力をもう一段階上げていき、今までの行政の考え方方にとらわれず、主体性を持つた成長する経営を目指してまいります。

# 12月 定例会

## 議案審議の概要

### 提案され審議した主な議案についての概要

(※質疑は抜粋)

### 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

## 専決処分

### 一般会計補正予算（第4号）

#### （主な補正内容）

樺原町議会議員辞職に伴う補欠選挙実施にかかる経費について令和7年10月1日付けで専決処分したので承認を求めるもの。

#### ● 総務費

● 飯母移住定住促進住宅の雪害による雨樋修繕料他	<b>▲5千240万4千円</b>
● 民生費	<b>367万8千円</b>
● 児童等の入院件数増による福祉医療扶助他	<b>245万9千円</b>
● 衛生費	<b>帶状疱疹予防接種者増による国保連合会負担金他</b>
● 農林水産業費	<b>3千930万9千円</b>
● 商工費	<b>要望件数増による農業基盤整備等事業補助金他</b>
● 土木費	<b>▲3千13万3千円</b>
● 実績見込による太郎川公園施設光熱水費他	<b>1千611万円</b>
● 公債費	<b>▲1千32万1千円</b>
● 諸支出金	<b>令和6年度の借入額及び利率の確定による長期債務子の減額</b>
● 他	<b>緑り替え運用に伴う保健文化社会福祉基金積立金</b>

承認	全員賛成
----	------

## 補正予算

### 一般会計補正予算（第5号）

#### （主な補正内容）

人事院勧告に基づく町職員給与改正による職員の給料月額の引上げと期末手当、勤勉手当支給率及び通勤手当等の改定並びに、職員の異動等に伴う各費目間、会計間での人件費の調整。

可決	全員賛成
----	------

## 樺原町犯罪被害者等支援条例の制定について

本町において犯罪被害者等の平穏な日常生活の支援を実施し、町民が安全で安心して生活できる地域社会の実現に向けて取り組んでいくため、犯罪被害者等基本法に基づき条例を制定するもの。

令和6年度に実施した四万十川流域景観計画改定業務において、四万十川流域の5市町で協議・検討を行った結果を反映し、各市町の景観計画の変更を行うとともに、併せて、その根拠法令である樺原町景観条例を改正するもの。

可決	全員賛成
----	------

## 条例

可決	全員賛成
----	------



犯罪被害者支援相談の最初の窓口である役場総務課

Q

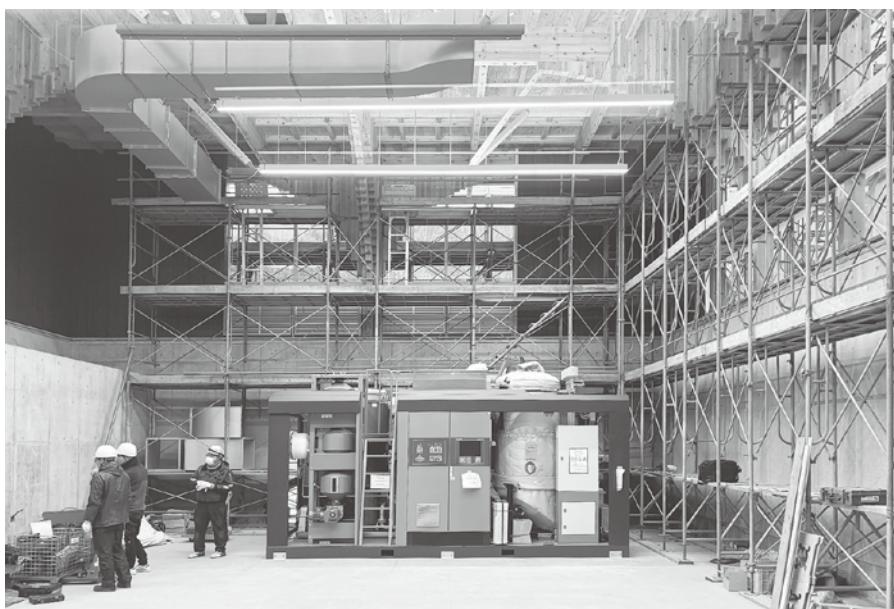
藤原伸議員

犯罪被害者相談を受け持つ窓口部署と、その部署は積極的姿勢で状況の把握に努めるのか。

A

総務課長

相談窓口は総務課を想定。対応は内容により保健福祉課や教育委員会と連携し子育て支援の問題やいじめ等への対応へと繋ぎ、各種制度への申請サポートも行う。受け身かつ積極的に応じる用意がある。



完成間近の木質バイオマス発電所建屋内に搬入される発電機等の様子

### 樋原町地域マイクログリッド設備の設置及び管理に関する条例の制定について

Q

藤原伸議員

現在、樋原町脱炭素先行地域事業において工事をしている地域マイクログリッド構築工事及び木質バイオマス発電所建設工事が令和8年3月末に完成の見込みであることから、これらの設備の設置及び管理に関する条例を制定するもの。

可	決
全員賛成	

### 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告等を踏まえ、一般職の給料月額及び通勤手当並びに宿日直手当、期末手当、勤勉手当の改定を行うもの。

可	決
全員賛成	

### 樋原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部改正について

一般職の期末手当及び勤勉手当の支給率改定に伴い、特別職について一般職の改定割合に応じた期末手当の改正を行うもの。

可	決
全員賛成	

条例案第3条で「マイクログリッドは常に良好な状況において管理」とあるが現在町内の各公共施設の管理は多少の劣化や故障の修繕を見送り結果として多額公費を用いての修繕となっている。メンテナンスは業者以外にも管理者が日々チェックするのか。

A

森林づくり脱炭素推進課長

機械設備に関しては日々の業務、点検を十分に行い運営を行う。また地下埋設設備も適正な時期に必要な管理を行う方針。

**梼原町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について**

児童福祉法の改正により、条例で定める事項とされた乳児等通園支援事業の設備及び運営にかかる基準について条例を制定するもの。

**可 決** 全員賛成



A 藤原伸議員  
誰でも理由を問わざとあるが、こども園利用に関して受け入れを断られる不安を抱く保護者がいる。いかなる理由でも受け入れることに相違ないか。

生涯学習課長

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）では、子どもが健やかに成長していくことを目的としているため、家庭で保育ができるないという理由を問わないことになっている。

**梼原町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について**

災害弔慰金の支給等に関する法律の適用の対象となる自然災害が発生した場合、被災した遺族等に支給する災害弔慰金または災害障害見舞金について、町においてその支給の判断が困難な場合、法律に基づき弔慰金等の支給に関する事項を調査する審査会の設置を行うために、所要の改正を行うもの。

**可 決** 全員賛成

**そ の 他**

**指定管理者の指定について**

鷹取の家の指定管理者の期限が、令和8年3月31日をもって満了することから、梼原町の公の施設にかかる指定管理者の指定手続き等に関する条例第4条により指定管理者の候補者を選定したので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

**可 決** 全員賛成

**指定管理者の指定について**

梼原町農村景観活用交流促進施設（雲の上の温泉）、梼原町雲の上のブール、梼原町観光交流センターの各施設の指定管理者の期限が、令和8年3月31日をもって満了することから、梼原町の公の施設にかかる指定管理者の指定手続き等に関する条例第4条により指定管理者の候補者を選定したので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

**可 決** 全員賛成

**梼原町四万川区辺地総合整備計画の変更について**  
**梼原町初瀬区辺地総合整備計画の変更について**  
**梼原町松原区辺地総合整備計画の変更について**

計画を変更することにより、今年度以降の辺地対策事業債の発行を可能とし、財源の確保を図るもので、

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を求めるもの。

**可 決** 全員賛成

**工事請負契約について**

**(令和7年度防災・安全社会資本整備交付金事業  
町道440号線井の谷橋2橋梁修繕工事)**

**工事請負契約について**  
**(令和7年度防災・安全社会資本整備交付金事業  
町道440号線井の谷橋2橋梁修繕工事)**

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

**可 決** 全員賛成

**高幡広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更について**  
**高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更に伴う財産処分について**

高幡広域市町村圏事務組合規約内の共同処理する事務の一つである「須崎斎場の設置及び維持管理並びに運営に関する事務」が一部事務組合に移譲されることに伴い、同組合規約の変更及びそれに伴う同組合の財産処分について協議したいので、地方自治法第290条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

**可 決** 全員賛成

## 吉田尚人君に対する感謝決議



議長、吉田町長(右)

平成29年の梼原町長就任以来、2期8年にわたり、本町の発展と町民の福祉向上のために多大なる尽力をなした。その功績は、町民誰もが認めるところである。特に、「健康」「教育」「環境」「産業」「くらし」「つなぐ」を政策の柱として掲げ、「子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷 森原」の実現に向けて、常に変化する社会情勢の中であっても、揺るがない信念のもと精力的に町政を推進した。

この間、誰も経験したことのない新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面し、感染拡大防止への迅速かつ的確な対策を講じるとともに、ロシアによるウクライナ侵攻などに端を発する、激動する社会情勢下での物価高騰対策や、子育て支援、事業者への経済支援、教育現場での児童・生徒への対応など、多岐に



議長から町長(右)へ贈呈される感謝状

わたらぬ緊急の課題に対し、終始一貫して真摯な姿勢で取り組み、梼原町の自治の発展に著しく貢献した。その功績は誠に多大である。

よつて、ここに、同君に対し深甚なる感謝の意を表すとともに、別紙記載文による感謝状を贈呈するものとする。以上決議する。

**提出者 議会議員 森田 呂弥**

可	決
全員賛成	

## 条例

### 梼原町火入れに関する条例の一部改正について

火入れの中止判断基準について、本年7月の中央防災会議において防災基本計画の修正が決定されたこと及び近年の状況を踏まえ基準の改正を行うもの。

**可** **決**  
全員賛成

## 議会条例

### 梼原町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について

議会議員へ支払う期末手当の支給日を、年1回を2回にわけて支払うよう条例の改正について議会の議決を求めるもの。

**提出者 議会議員 森田 呂弥**

### 提案理由（趣旨弁明）

地方自治法第203条第3項に基づき、議会議員に支給される期末手当について、議員の職務に対する経済的な支援をより安定的に行うとともに、他の公職者や全国の自治体における一般的な支給慣例との整合性を図るため、本条例の一部を改正し、支給回数を2回に改めるもの。

**可** **決**  
全員賛成

議案一覧と議員賛否状況  
私は ○ × です



## 12月 定例会(第382回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			矢野明	藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	土釜清	市川岩龜	西川慶男
第 59 号	専決処分の承認を求ることについて (令和7年度樋原町一般会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	-	○
第 60 号	令和7年度樋原町一般会計補正予算(第5号) 総額を59億5千857万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 61 号	令和7年度樋原町立松原診療所特別会計補正予算(第1号) 総額を1千902万5千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 62 号	令和7年度樋原町立四万川診療所特別会計補正予算(第1号) 総額を1千552万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 63 号	令和7年度樋原町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 総額を5億2千733万8千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 64 号	令和7年度樋原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 総額を5億5千513万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 65 号	令和7年度樋原町簡易水道事業会計補正予算(第1号) 総額を1億877万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 66 号	令和7年度樋原町下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収支総額を1億465万9千円、資本的収支総額を5千177万5千円	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 67 号	令和7年度樋原町病院事業会計補正予算(第2号) 収益的収支総額を6億7千918万6千円、資本的収支総額を5千373万5千円	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 68 号	令和7年度樋原町給与等集中管理特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 69 号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 70 号	樋原町犯罪被害者等支援条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 71 号	樋原町景観条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 72 号	樋原町地域マイクログリッド設備の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 73 号	樋原町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 74 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 75 号	樋原町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 76 号	樋原町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 77 号	樋原町火入れに関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 78 号	指定管理者の指定について(鷹取の家)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 79 号	指定管理者の指定について (樋原町農村景観活用交流促進施設、樋原町雲の上のプール、樋原町観光交流センター)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 80 号	樋原町四万川区辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 81 号	樋原町初瀬区辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 82 号	樋原町松原区辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 83 号	工事請負契約について (令和7年度 道路メンテナンス事業補助 町道440号線 井の谷橋2橋梁修繕工事)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 84 号	工事請負契約変更について (令和7年度 防災・安全社会資本整備交付金事業 第1-A76-029号 町道日野地線 法面改良工事)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 85 号	高幡広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第 86 号	高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更に伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
発議第1号	樋原町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
発議第2号	吉田尚人君に対する感謝決議議案の提出について	同意	○	○	○	○	○	○	-	○

# 一般質問

## 雲の上のホテル 跡地の活用策は?

來米 豊史 議員

まちづくり  
産業推進課長

具体策は定まっておらず  
慎重な判断が必要



雲の上のホテル建設予定地については、現在、建設時期や具体的な計画が定まっておらず、土地を長期間使わないままにしておくことは、観光や交流の機会損失につながる。次年度に向けてどのように取り組んでいくのか問う。

**Q** 雲の上のホテル建設予定地について、現時点での町の基本的な考え方は?

**A** まちづくり産業推進課長  
町からは、現時点では跡地の具体的な活用方針や事業計画は定まっておらず、跡地の遊休化が長期化することは望ましくなく、町としても有効活用の必要性は認識している。

**Q** ホテル建設が未定の期間に、跡地を暫定的に活用する考え方について、町の見解は?

**A** まちづくり産業推進課長  
まちづくり産業推進課長

の計画を妨げない形での暫定活用については検討の余地があるが、住民合意や費用対効果を踏まえ、慎重な判断が必要である。

**Q** キャンプ場とトレーラーハウスを組み合わせることで、天候に左右されにくい宿泊環境を提供でき、利用者の選択肢が広がる。これにより、家族連れや高齢者など幅広い層の来訪が期待でき、滞在時間の延長や消費額の増加など、地域経済への波及効果が見込まれる可能性がある。

**A** まちづくり産業推進課長  
トレーラーハウスを活用した宿泊機能の整備について、可能性や課題は?

**A** まちづくり産業推進課長  
まちづくり産業推進課長



臨時駐車場として使用されている雲の上のホテル跡地

て、町はどう評価するのか?  
余地があるのか?

**Q** 今後民間との協力や官民連携の可能性を検討する一担当課で判断することは出来ないが、他自治体では、観光や防災を切り口にトレーラーハウス事業者と連携している例があり、梼原町においても目的や効果が明確であれば民間企業との連携は可能であると考えている。

**Q** 災害対策施設としての活用や、国の支援制度・補助金の活用について、今後の考えは?

**A** まちづくり産業推進課長  
現時点で具体的な支援制度や補助金の把握には至っていないものの、今後、制度の有無や内容について調査・研究を行う必要がある。仮に活用可能な制度があれば、初期投資の負担軽減につながり、導入の選択肢を広げることになる。今後は新しい町長のもとで、総合的に議論されることになる。



無印良品インフラゼロハウス

# 一般質問

森田 呂弥 議員

## 子どもたちが安心して学べる教育環境を守るには

学校・家庭・教育委員会の連携が必要



子ども達の安心・安全を守るために教育体制について

校内ルールは本年度途中にも見直しを行っており、今後も状況に応じて適切に改正していく。

**Q** 桃原学園における盗撮りスクを教育委員会としてどのように認識しているのか。

教育長

児童生徒の心を深く傷つける行為であり、断じて許されないと認識している。

本年6月に発生した県内の盗撮事案を受け、直ちに校内の緊急点検を実施し、トイレや更衣室、教室、寮等を確認した結果、いずれも異状なしとの報告を受けている。

現在も継続的な点検と、教職員への不祥事防止研修を行い、不祥事全般の防止と服務規律の徹底に努めている。

教育長

**Q** 教職員による、ICT機器や私物スマートフォンの不適切利用を防ぐためのルール整備を、見直す考えがあるか。

教育長

学校配備のICT端末は県の利用ルールに基づき、教育目的以外の使用禁止や、撮影データの校内サーバーへの移行を徹底している。

私物スマートフォンは、不祥事根絶のための校内ルールを定め、原則として児童生徒の前での使

用は禁止している。

安心して相談できる環境づくりに努める。

**Q** 不祥事を未然に防ぐための研修や、生徒や保護者が相談しやすい通報環境の整備はどうしているのか。

教育長

県教育委員会が実施する初任者研修や年次研修に加え、桃原学園独自の取り組みも行っている。長期休業中を中心に全体研修を実施し、あわせて若手教員向けの研修を年2回行っている。

教職員の人事異動により組織は流動的ではあるが、今後も継続的な研修等を通じ、服務規律の徹底と不祥事の根絶に向け取り組んでいく。

教育長

相談体制については、各学級担任や養護教諭を窓口とするほか、県作成の啓発チラシを配布し、学校外の相談窓口についても周知している。また、全児童生徒を対象に無記名の生活アンケートを実施し、教職員からの被害も含めて把握できる仕組みとし、早期発見・早期対応に努めている。本学園では、小中一貫教育の強みを生かし、複数の教員の日で児童生徒を見守る体制を整えており、今後も、教職員間の情報共有を徹底するとともに、スクールカウンセラー等の外部専門家と連携し、

町民の皆さんと一緒に、しっかりとした節目の年にしていくたい。

**Q** 桃原の60年の歴史に名を刻む吉田町長として、この節目を迎える町民の皆様へ向けてメッセージを！

町長

60年は、人に例えれば還暦になります。人口減少という課題の中にあっても、町民一人ひとりが未来に向けて力を合わせようと思える記念式典が開催されることがあります。特に小、中学校段階での指導は極めて重要であると認識しております。被害を未然に防ぐための情報モラル教育を充実させ、家庭と連携して子どもたちが自ら的に端末を扱えるよう、継続して指導していく。

町長

先人の皆様が、多大な努力により築かれた本町の歴史を大切にし、新町長のもと、町民同士のつながりや連帯感という強みを改めて確認し、次の時代へつなぐ節目の年となることを心より願っています。

総務課長

町民の皆さんと一緒に、しっかりとした節目の年にしていくたい。

**Q** これまでの周年事業と同様に実行委員会を立ち上げ、11月には記念式典を開催する。

町長

**Q** 町制60周年記念事業についてどのような検討が進

取り組みについて



12月  
臨時会

## 提案され審議した主な議案についての概要

(※質疑は抜粋)

議案審議の概要

## 補正予算

## 一般会計補正予算（第6号）

## （主な補正内容）

## ・総務費

711万9千円

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援するため、国からの補助金を受けて、令和7年9月分の児童手当支給対象児童を給付対象として、こども一人につき2万円の一時金を支給する子育て応援手当給付金700万円及びその給付にかかる事務費の増額によるもの。

可	決
全員賛成	

## 新議員の紹介



吉富 文 氏

期間：令和8年3月5日  
～令和12年3月4日

同 意
全員賛成



(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案一覧と議員賛否状況  
私は ○ × です

教育委員の任命に付き同意を求める  
ことについて

現委員である吉富文氏が令和8年3月4日をもって任期が満了することに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求めるとするもの。



矢野 明 氏

## その他

令和7年12月7日に行われた梼原町議会議員補欠選挙において、矢野明氏（梼原町大蔵谷）が見事当選されました。

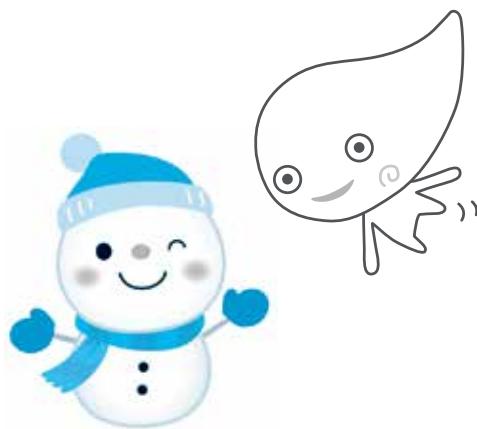
また、12月17日に行われた12月定例会において、まちづくり常任委員会委員に選任されました。

## 12月臨時会(第383回)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			矢野明	藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	土釜清	市川岩龜	西川慶男
第87号	令和7年度梼原町一般会計補正予算（第6号） 総額を59億6千569万6千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	○	-	○
第88号	教育委員の任命に付き同意を求めるることについて	同意	○	○	○	○	○	○	-	○

## わたしたちはこんな議会活動をしています

## 議会の動き



1	日	高知県戦没者追悼式
4	日	四万十町議会視察対応
4	日	北海道厚沢部町議会視察対応
5	日	愛媛県愛南町議会視察対応
11	日	県選出国会議員との意見交換会
12	日	町村議会議長会全国大会
13	日	高幡町村議会議長会県外研修
14	日	未来大使感謝の集い
19	日	樋原町人権教育研究協議会 委員会
21	日	高幡組合議会打合せ
27	日	グルメ祭り反省会
28	日	国保運営協議会委員研修
28	日	広島県安芸太田町議会視察対応

## 令和7年9月から11月までの会議、委員会

月 日	用 務
9月 3日	議会運営委員会
9月 8日	9月定例会
9月 9日	決算審査
9月12日	9月定例会

月 日	用 務
10月 3日	議会広報編集委員会
10月 9日	議会広報編集委員会
11月19日	まちづくり常任委員会

※本会議、委員会等、議長及び委員長が出席要請した活動のみ記載

寄付のお礼

この度、次の方から「議会だより 四万十源流」に対し寄付をいただきました。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

# 愛媛県鬼北町 松本君 恵様

## ▶ 閉会中の所管事務調査事項 ◀

各委員会は、3月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

- 議会運営委員会  
→ 3月定例会の運営について
  - 議会広報編集委員会  
→ 議会広報の発行について



## 令和7年度議長杯争奪 ゲートボール大会が 開催されました

12月21日(日)和田城横ゲートボール場において、令和7年度議長杯争奪ゲートボール大会が、雨がしどしと降る寒空のもと町内6チーム28人の皆さんの参加により開催されました。

結果は次のとおり。

優勝 中央衛星会  
準優勝 上松長寿会  
第三位 四万川



激甚化する自然災害が相次ぎましたが、私たち議会も、皆様の生命と暮らしを守るためにの防災・減災対策に、より一層身を引き締めて取り組んでまいります。本年が皆様にとって平穏で、幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

土釜 清記

時間（とき）の経つのは早いもので、2026年を迎えた。能登半島地震から2年、東日本大震災からは15年が経過しようとしています。昨年も世界での紛争や、地震・豪雨などの自然災害により、多くの尊い命が失われました。

あとがき

